

平成29年度当初予算における政策的新規・充実事業予算の要求内容と査定結果【事業を実施するもの】

(単位：千円)

事業名	環境政策局予算要求の内容		査定結果	
	事業概要	要求額	査定額	内容
京都議定書誕生20周年記念 地球環境京都会議 (KYOTO+20) (仮称)の開催	平成9年12月、人類史上初の地球温暖化対策を取りまとめた「京都議定書」が誕生した。 平成29年は、京都議定書誕生20周年を迎え、京都議定書が大きく飛躍した「パリ協定」の実現に向けて歩みを進めるべき年であることから、京都議定書の意義や、京都議定書誕生以降、都市をはじめ世界が取り組んできた地球温暖化対策の成果と課題、また、対策の更なる推進に向けた決意などを共有するとともに、国際的な都市間連携の強化により、地球規模での温暖化対策の深化を促進するため、「地球環境京都会議」(KYOTO+20)(仮称)を開催する。	37,000	37,000	■要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 積算単価の精査 <input type="checkbox"/> 数量等の精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査 <input type="checkbox"/> 事業手法の精査 <input type="checkbox"/> 規模の精査 <input type="checkbox"/> 年次割の精査
食品ロス削減等推進事業	平成32年度までに、ごみ量をピーク時の半分以下(39万トン)とするため、その約4割を占める生ごみ、とりわけ食品ロスの削減に向けた新たな施策を展開する。 ◆フードバンク活動等支援 フードバンク活動の認知度を高め、食品ロスの削減を推進するため、フードバンク活動のほか、民間団体等が行う食品ロス削減に関する取組を支援する。 ◆商慣習の見直しに関する調査・社会実験 小売店等が設定する食品の販売期限について、販売期限の延長による影響等を調査する。 ◆しまつのこころ楽考(がっこう) 市民の食品ロス削減等に関する理解を深め、ごみの減量に繋げていくため、楽しみながら考え、学んでいただく地域学習会、「しまつのこころ楽考(がっこう)」を開催する。	8,000	8,000	■要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 積算単価の精査 <input type="checkbox"/> 数量等の精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査 <input type="checkbox"/> 事業手法の精査 <input type="checkbox"/> 規模の精査 <input type="checkbox"/> 年次割の精査
小型家電リサイクル資源の活用～みんなで集めよう！都市鉱山から金メダル～	「新・京都市ごみ半減プラン」に掲げる平成32年度までに、ごみ量をピーク時の半分以下にし、持続可能な循環型社会を構築していくためには、更なるごみの減量と同時に、リサイクルを推進していく必要がある。 本事業では、市民の皆様が排出された携帯電話などの小型家電、いわゆる都市鉱山から回収した金を100%使った京都マラソンの優勝メダルを作成する全国初の取組を、昨年、創設百周年を迎えた京都市産業技術研究所の技術を活用し、2018年大会に向けて実現し、資源活用の見える化を図り、市民の皆様のより一層の分別・リサイクル意識の向上につなげていく。	1,000	1,000	■要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 積算単価の精査 <input type="checkbox"/> 数量等の精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査 <input type="checkbox"/> 事業手法の精査 <input type="checkbox"/> 規模の精査 <input type="checkbox"/> 年次割の精査